

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2000-26676 (P2000-26676A)  
 【公開日】平成 12 年 1 月 25 日 (2000.1.25)  
 【出願番号】特願 平 10-208589  
 【国際特許分類第 7 版】  
     C 08 L 23/26  
     C 08 L 53/00  
 【F I】  
     C 08 L 23/26  
     C 08 L 53/00

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 9 月 21 日 (2004.9.21)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0004  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
     【0004】

    【発明が解決しようとする課題】

上記した 2 種の樹脂組成物は、- オレフィン - 不飽和カルボン酸共重合体系アイオノマー樹脂単独の場合に比べ、反発弾性が維持または改良されるとともに、柔軟性が改良された成形体を与える。しかし、このことは、- オレフィン - 不飽和カルボン酸共重合体系アイオノマー樹脂の特徴である硬度が低下することを意味しており、上記した 2 種の樹脂組成物は、高い硬度が要求される用途に適したものではない。しかして本発明は、硬度を低下させることなく、反発弾性が改良され、しかも靱性、力学的強度、耐摩耗性、耐油性等に優れた成形体を与える - オレフィン - 不飽和カルボン酸共重合体系アイオノマー樹脂組成物を新たに提供することを課題とする。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0008  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
     【0008】

ブロック共重合体 (2) における重合体ブロック (A) は、芳香族ビニル化合物単独で構成されていてもよいし、オレフィン化合物単独で構成されていてもよいし、芳香族ビニル化合物およびオレフィン化合物の両方から構成されていてもよいし、また、芳香族ビニル化合物およびオレフィン化合物の少なくとも一方と他の少量の共重合性単量体から構成されていてもよい。重合体ブロック (A) が、芳香族ビニル化合物およびオレフィン化合物のうちの 2 種類以上の単量体から構成されている場合は、それらの結合形態はランダム、テーパード、一部ブロック状、またはそれらの 2 種以上の組み合わせ、のいずれであってもよい。